

安全データシート

製品名:

カチオンA-10

作成日: 2010年 8月 27日
改訂日: 2024年 5月 13日
確認日: 年 月 日

【整理番号: 5004 /GHS. Ver- 6】

1. 化学品及び会社情報

製品の名称: カチオンA-10
会社名: 甘糟化学産業株式会社
住所: 東京都千代田区神田西福田町3番地
電話番号(緊急): 品質統括部 03-6632-3006 (平日 9:00~17:00)
FAX番号: 03-6632-2828
E-mail: 品質統括部 q-m@amakasu-chem.co.jp
推奨用途: 工業用除菌剤
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境有害性

水生環境有害性(短期・急性)	区分3
水生環境有害性(長期・慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

他の項目はSDS作成時に得られた情報では区分に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難をおこすおそれ
呼吸器系の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

取扱後は手をよく洗うこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。
 容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別		化学物質			
化学名又は一般名	別名	化学物質を特定できる一般的な番号			濃度又は濃度範囲 (w/v%)
		CAS番号	官報公示整理番号		
			化審法	安衛法	
塩化ベンザルコニウム	ジメチルベンジルアルキルアンモニウムクロライド	8001-54-5	(3)-326	既存	9.3-10.7

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、全ての汚染された衣類を取り去ること。
 多量の石鹼と水で優しく洗うこと。
 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理にはかせないこと。口をすすぐこと。
 直ちに医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

腐食性

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護具及び予防措置

呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

全ての着火源を取り除く。
 関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、河川等に排出、環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法・機材

漏出液は密閉できる空容器に回収する。
 残留液は砂や不燃材料に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 静電気対策のため装置、機器等の接地を確実にを行う。

安全取扱注意事項

局所排気、全体換気を行う。
 高温物、スパーク、火気の使用を禁止。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等の保護具を着用すること。
 容器を密閉し、転倒、落下、衝撃を加える取扱いはしないこと。
 金属に対し腐食性があるので注意すること。

混触回避

「10.安定性及び反応性」を参照する。

衛生対策

この製品を使用するときは飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

着火源から離して保管すること。
 直射日光を避け、換気のよい涼しい場所で密閉保管すること。
 強酸化剤から離して保管すること。
 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

	許容濃度		管理濃度
	日本産業衛生学会(2021年)	ACGIH(TLV)	
塩化ベンザルコニウム	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策

この製品を貯蔵、取扱う作業場には洗顔及び身体洗浄のための設備(安全シャワー)を設けること。
 作業場には換気装置を設置すること。

保護具

呼吸用の保護具	保護マスク、呼吸用保護具
手の保護具	保護手袋
眼及び顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	無色～淡黄色透明
臭い:	特異な臭い
融点・凝固点:	データなし・データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし、データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
引火点:	なし(水が沸騰する)
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
溶解度:	水、エタノールに可溶
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
比重:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の取扱い温度、圧力で安定
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応する 金属に対し腐食性がある
避けるべき条件	高温、燃焼
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口: 計算の結果 /区分に該当しない

経皮: 計算の結果 /区分に該当しない

吸入・蒸気: 毒性未知成分を含有する /分類できない

吸入・ミスト: 毒性未知成分を含有する /分類できない

皮膚腐食性・刺激性

区分1の成分を5%以上含有する /区分1

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性

区分1の成分を3%以上含有する /区分1

呼吸器感受性

区分1の成分を1%以上含有する /区分1

皮膚感受性

区分1の成分を1%以上含有する /区分1

生殖細胞変異原性

毒性未知成分を含有する /分類できない

発がん性

毒性未知成分を含有する /分類できない

生殖毒性

毒性未知成分を含有する /分類できない

特定標的臓器毒性-単回ばく露

区分2の成分を10%以上含有する /区分2

特定標的臓器毒性-反復ばく露

毒性未知成分を含有する /分類できない

誤えん有害性

動粘性率が不明なため /分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

製品としての情報はなし

	水生環境有害性	
	短期(急性)	長期(慢性)
塩化ベンザルコニウム	ヒメダカ 96h LC50=10mg/L	データなし

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号: 1760
品名: その他腐食性液体,n.o.s

海上規制情報(IMDG)

国連分類: クラス8
容器等級: III
海洋汚染物質: 非該当

航空規制情報(IATA)

国連分類: クラス8
容器等級: III

国内規制

陸上規制情報: 消防法、安衛法、などに定められている運送方法に従う
海上規制情報: 船舶安全法に定められている運送方法に従う
航空規制情報: 航空法に定められている運送方法に従う

輸送に関する特別の安全対策: 荷崩れ防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号: 154

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令第18条[名称等を表示すべき危険物及び有害物] (2025(令和7)年4月1日施行) *1
施行令第18条の2[名称等を通知すべき危険物及び有害物] (2025(令和7)年4月1日施行) *1
法第57条の3[危険性又は有害性を調査すべき物] (2025(令和7)年4月1日施行) *1
規則第594条の2[皮膚等障害化学物質等 不浸透性保護具等の使用義務物質
(塩化ベンザルコニウム)]

消防法

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

優先評価化学物質(新規化学物質として取り扱わない物質)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

*2

施行令第1条別表第1 第一種指定化学物質(成分名:アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウム
の塩(アルキル基の炭素数が12から16までのもの及びその混合物に限る。) 管理番号:581)

船舶安全法

危険物船舶輸送及び貯蔵規則 腐食性物質

海洋汚染防止法

該当しない

航空法

施行規則第194条 腐食性物質

その他、地方自治体における条例等の対象となる場合があります。

所管の行政機関にご確認下さい。

16. その他の情報

化学物質関連情報(NITE-CHRIP) (独立行政法人製品評価技術基盤機構)
国際化学物質安全情報カード・日本語版(ICSC) (国立医薬品食品衛生研究所)
17423の化学商品 (化学工業日報社)
GHSモデルSDS情報 (厚生労働省 職場のあんぜんサイト)
JIS Z7252: GHSに基づく化学品の分類方法
JIS Z7253: GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
原料メーカーSDS

※ このシートは新しい情報に基づき予告なく改訂することがあります。

※ このシートに記載されている情報は、その正確性、完全性を保証するものではありません。

化学品には未確認の有害性、危険性の存在があり得ますので、取扱いの際には細心の注意が必要です。

- ※ 本品の使用に際して、その適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。
- ※ 適用法令はシート発行後に新たに制定・改定されている場合もありますので、使用に際しての規制等の確認は使用者において行ってください。

【MEMO】

- *1 2026年4月1日施行の対象物質を含む。
- *2 化管法・改正政令によりPRTRの対象物質が変更され、2024（令和6）年度届出分から適用される化学物質を含む。

製品に関するご質問は以下の事業所までお問い合わせください。

東京本店	営業一部(エタノール)	: 03-6632-3021	info@amakasu-chem.co.jp
	営業二部(シンナー)	: 03-6632-3022	
大阪支店	06-6201-2812	osaka@amakasu-chem.co.jp	
名古屋支店	052-211-3765	nagoya@amakasu-chem.co.jp	
北海道支店	0134-62-0051	hokaido@amakasu-chem.co.jp	